

6月定例教育委員会議事録

- 1 日 時 平成24年6月20日(水) 午前9時30分から午前11時12分
- 2 場 所 宗像市役所本館3階・301会議室
- 3 出席委員 委員長 井上裕之
委員 川上美子
委員 平田良枝
委員 中岡政剛
教育長 久芳昭文
- 4 その他の出席者 教育部長灘谷辰生、市民協働・環境部長福崎常喜、子ども部長柴田祐治、教育部理事兼主幹指導主事後藤正弘、教育政策課長安部武彦、教育政策課指導主事羽田野崇、教育政策課指導主事西島潔、教育政策課指導主事正路澄代、学校管理課長占部晃、子ども育成課長中野万由美、図書課長星野忠士、市民活動推進課長磯部輝美、郷土文化学習交流課長清水比呂之、市民活動交流室長中村慈宏、経営企画部世界遺産登録推進室長岩佐芳弘、保健福祉政策課長中村秀治、教育政策課主幹兼政策係長岡田光晴、教育政策課政策係主任主事許斐知加、宗像市社会福祉協議会事務局長吉田靖生

※ 傍聴 なし

- 5 前回(5/23定例)議事録の承認(資料1)《承認》

6 議案

- ① 議案第16号 宗像市社会福祉協議会理事の推薦について(資料2)《推薦》

【久芳教育長】 資料2参照。議事録なし。(▲15秒)

【総社会福祉協議会幹事】 現在、社会教育関係者として、平田教育委員に本会の理事を務めていただいておりますが、平成24年7月22日をもって任期満了となりますので、教育委員の皆様の中から新理事の推薦をいただきたいと思います。本会では、子どもたちが福祉の心を持てるように年間83回に及んで、幼稚園、保育所、小学校、中学校、高等学校において福祉教育を進めています。今後もこれらの活動を継続していきたいと考えていますので、ぜひ教育委員の皆様の中から、理事の推薦をお願いいたします。

【井上委員長】 ご意見ご質問がございますか。定款施行細則第2条(9)に該当する者として、従来から教育委員が理事に就任しているようですが、社会教育関係という枠で本当によいのかと疑問に感じました。

【川上委員】 範囲が広がりますので、子どもたちのためのボランティア団体から選出してもよ

いことになると思います。

【総社会福祉協議会事務局】 ボランティア団体につきましては、(10)で選出いただいております。また、本会が福祉教育を進める上で学校と深い関わりがあることから、教育委員の皆様の中からお願いしたいと思っております。

【井上委員長】 これまでどおり教育委員から選出する形を継続するのであれば、定款を変える必要はないと思いますが、今後、教育委員である必要がないという意見が出されて選出できない場合も考えられますので、定款の内容を検討していただきたいと思っております。

【総社会福祉協議会事務局】 はい、検討したいと思います。

【井上委員長】 理事の任期が2年ですので、任期が2年以上残っている委員から選出する必要があります。もしよろしければ、平田委員に継続して引き受けていただけたらと思っておりますが、いかがでしょうか。

【各委員】 賛成。

【井上委員長】 議案第16号につきましては、平田委員を推薦ということで承認いただけますか。

【各委員】 はい。

② 議案第17号 宗像市民生委員推薦会委員の推薦について(資料3)《推薦》

【久芳教育長】 資料3参照。議事録なし。(▲15秒)

【保健福祉政策課長】 本年6月30日をもちまして、現委員の任期満了となりますので、新委員の推薦をお願いするものです。民生委員法により市に設置が義務付けられている民生委員推薦会の委員として、同法第8条第2項の1号から7号まで、少なくとも7人以上の委員が必要となりますが、教育に関係のある者として、教育委員の皆様からの推薦をお願いします。具体的なお仕事としましては、民生委員の欠員や3年に一度の一斉改選の際に、各地区からの推薦であがってこられた方々の適性を確認していただくことがございます。

【井上委員長】 ご意見ご質問がございますか。

【平田委員】 伊達さんは教育委員をお辞めになった後も委員を務められているようですが、過去に教育に関係があった者でもよいということですか。

【井上委員長】 伊達委員が教育委員を辞任された時点で、新委員を選出しなければならなかったのではないかと思います。いかがでしょうか。

【保健福祉政策課長】 委員長のご指摘のとおり、適正な手続きとしましては、昨年4月に補欠委員の選任をお願いすべきところでした。事務局の解釈に一部問題があり、そのまま運用させていただいた経緯がございますが、今回の任期満了に合わせて、改めてお願いを申し上げる次第です。

【川上委員】 伊達委員が教育委員をお辞めになった後に推薦会の召集はありましたか。

【保健福祉政策課長】 一度ございました。

【井上委員長】 その時点で伊達委員は出席できないと思われそうですが、何も対応しなかったのですか。

【保健福祉政策課長】 推薦会の運営として不適切であったと認識しております。

【久芳教育長】 教育委員という身分を持っていなければ委員になれるわけではないと思います。

【保健福祉政策課長】 はい、そうです。民生委員法の求めるところとしましては、選出分野として教育に関係のある者となっております。教育委員を辞任されていた状況はございますが、元教育委員として教育に携わっておられたことから該当しているという解釈をしておりました。

【井上委員長】 今後は、適切な時期に交代の提案を行っていただきますようお願いいたします。

【保健福祉政策課長】 はい、わかりました。

【井上委員長】 任期が3年となっておりますので、該当するのは、教育長、私、川上委員の3人です。川上委員をお願いすることを提案いたしますが、いかがでしょうか。

【各委員】 賛成。

【井上委員長】 議案第17号につきましては、川上委員を推薦ということで承認いただけますか。

【各委員】 はい。

③ 議案第18号 宗像市学校図書館推進協議会委員の選出（案）について（資料4）《承認》

【久芳教育長】 資料4参照。議事録なし。（▲19秒）

【図書課長】 資料4参照。議事録なし。（▲21秒）

【井上委員長】 ご意見ご質問がなければ、議案第18号につきまして承認いただけますか。

【各委員】 はい。

④ 議案第19号 宗像市学校給食審議会委員の選出（案）について（資料5）《承認》

【久芳教育長】 資料5参照。議事録なし。（▲12秒）

【学校管理課長】 本日、差し替えをお願いしております。

以下、議事録なし。（▲1分11秒）

【井上委員長】 知識経験を有する者の備考欄に日本赤十字九州国際看護大学とありますが、校長代表の備考欄には役職名が記載されていますので、教授や准教授など、役職名の記載が必要ではありませんか。また、保護者代表の備考欄も学校名しか記載されていません。

【学校管理課長】 申し訳ございません。ご指摘のとおり、洲崎先生に関しましては、日本赤十字九州国際看護大学准教授でございます。保護者代表に関しましては、PTA役員の方ですので、PTA代表ということで追記をお願いします。

【川上委員】 2年前に委員の選出方法について検討をお願いした項目があります。宗像市では2年前から全校で自校式給食となりました。それに伴って地域性のある給食を提供するようになったため、本審議会の委員の選出については、校区の偏りがないように、例えば中学校区ごとに選出するなどの方法をとっていただきたいと申し上げておりました。今回の内容を見ますと、PTAはばらつきがありますが、校長については、再任と異動があったこともあり、河東中学校区の3小中学校の校長

が3人入っていらっしゃる状況です。これは審議会全体からみると、非常に偏りがあるのではないかと感じますが、今回の選出の経緯をお聞かせください。

【学校管理課長】 川上委員のご指摘につきましては、ごもっともだと思います。この件に関しましては、学校管理課での引継ぎが不十分で、私も存じておりませんでした。2年前のご指摘を踏まえて、本来ならば4月に行われる校長会での分担協議の際に、内容を伝えるべきでございました。今後は、校長会が作成する分担表の備考欄に、中学校区の偏りがないように選出をお願いする旨を記載させていただき、今回は意向を踏まえて選出を行いたいと思います。誠に申し訳ございません。

【平田委員】 審議会では、給食費、食物アレルギー、納入業者等、給食に関する重要な審議をなさるといいますので、校区については考慮していただきたいと思います。また、現在のアレルギーの状況や給食費の収納状況等についても、どこかの機会でお知らせいただければと思います。

【井上委員長】 教育委員会の定例会議で報告してください。

【学校管理課長】 はい、わかりました。

【井上委員長】 他にご意見ご質問がなければ、議案第19号につきまして承認いただけますか。

【各委員】 はい。

⑤ 議案第20号 宗像市教育委員会の研究指定・委嘱校について(宗像市学校情報化モデル検証事業)(資料6)〈承認〉

【久芳教育長】 資料6参照。議事録なし。(▲17秒)

【教育政策課長】 資料6参照。議事録なし。(▲2分53秒)

【井上委員長】 平成25年10月に研究発表を行うとありますが、玄海中学校区では小中一貫教育の発表もあります。合わせて行う予定ですか。

【教育政策課長】 研究発表日は毎年10月に設定しておりますので、本事業につきましても基本的には発表していただくこととなります。玄海中学校区につきましては、ご存知のとおり校舎の改築もある中、工事等も含めて7月中に導入し、8月初旬から練習を兼ねて使えるようにしたいと考えておりますので、実質授業に取り入れるのは2学期からになります。研究期間が1年と少しになりますので、研究発表については、進捗状況を見ながら検討したいと思います。

【井上委員長】 小中一貫教育の研究発表と同時に行う可能性はありますか。

【教育政策課長】 はい。可能性としてございます。

【久芳教育長】 日進月歩の分野ですので、なるべく早く各学校で使っていただけるように、研究発表についても早めをお願いしたいと思います。

【川上委員】 玄海中学校区では、全ての小中学校に導入されますので、このツールを使って授業に役立っているという見せ方をさせていただいてもいいのではないかと思います。例えば、小学校間の教材の共通化や、どこかの小学校で開発したものを他校でも使用しているなど、何らかの興味深い使い方を見せていただければ嬉しいです。

【平田委員】 デジタル教科書のセット数に関して、学年や教科を詳しく教えてください。

【教育政策課長】 中学校では、可動式の移動の難しさを考慮してフロアに1台設置します。小学校では、基準として5、6年の各クラスに1台ずつという設定をしています。教科書につきましては、中学校では主要5教科を全学年分揃えます。小学校では、5、6年に対して主要4教科をセットします。

【井上委員長】 他にご意見ご質問がなければ、議案第20号につきまして承認いただけますか。

【各委員】 はい。

7 報告事項

① 行政報告（資料7）

【久芳教育長】 今回は6月議会の質疑と関連のある通学路の安全対策会議や土曜日授業の実施といった事項もありましたので、一般質問の内容とあわせて報告させていただきます。一般質問は6月12日から14日までの3日間行なわれ、教育問題については6人の議員から質問を受けました。最初に、田原議員から「土曜日授業を実施すべきと思うが基本的な考え方は」との質問があり、答弁は、土曜日に授業や学校行事を行なうことにより、より多くの保護者や地域の方の来校が期待できること、また、教育課程の編成や実施にも余裕が生まれることなどのメリットがあることから積極的に進めたいといたしております。次に、コミュニティスクールの導入について、田原議員と神谷議員のお二人から積極的な導入の立場から質問がありました。この質問については、本市では中学校区ごとに学校運営評議委員会を設置してコミュニティスクールと同等の役割を担って機能しており、今後も学校運営評議委員会を通して学校・地域・保護者が一体となった小中一貫教育を進めていくが、コミュニティスクールの目指す学校の姿が理想だと思うので、小中一貫教育の手法の中で、どのような仕組みがよいのかについて今後検討していきたい旨答えています。それから、通学路の安全確保について田原議員、新留議員、石松議員から質問がありました。通学路の安全確保については、本市としても副市長をトップに通学路安全対策会議を設置しまして現地調査を実施し、危険箇所を把握するとともに、緊急性の高いものから対策を講じていく旨を回答しています。また、田原議員から、「学力向上や教育環境の整備は、定住化対策の柱になると思うがどうか」との質問がありましたので、教育を宗像ブランドの一つに掲げることは、本市の定住化対策の柱として重要なことだと考えているので、使命感を持って取り組んでいきたいと答えています。このほか、石橋議員からは農産物の地産地消の推進という観点から食育の推進について、吉田議員からは、近年の小中学生の体力低下対策としてコーディネーショントレーニングの導入について提案がありました。主な内容は以上ですが、今回質疑がありました土曜日授業の推進につきましては、すでに6月2日に自由ヶ丘中学校で試行されたこと、6月9日には城山中学校で試行されることを6月6日に実施された吉武小学校の学校訪問の際にご報告いたしました。城山中学校では300人を超える来校者があり、保護者の関心も強いと感じています。後ほど担当から今後の取り組みも含めて説明をいたしますが、校長会とも話し合いながら、来年度の本格実施に向けて準備を進めていきたいと考えています。また、コミュニティスクールにつきまして

も、現行の学校運営評議委員会がしっかり機能しておりますので、当面は各学校の現状をしっかり見定めてまいりたいと考えていますが、コミュニティスクールといった制度的なものの導入も視野に入れておく必要はあると思っています。

【井上委員長】 6月18日と19日に実施した玄海東小学校と玄海小学校の学校訪問について、教育委員会の欄に追記をお願いします。

② 後援報告（資料8）議事録なし

③ 土曜日の授業の試行について（資料なし）

【正路指導主事】 土曜日の授業に関しましては、現在、校長会で基本的な考えを集約していただいているところです。学校暦を4月に作成し、地域や保護者にお知らせしている点から難しい面があるようですので、慎重に進めたいと思っています。既に実施いただいた学校が2校ございまして、自由ヶ丘中学校、城山中中学校が、6月2日と6月9日に実施しています。

【川上委員】 現在、校長会で意見を集約しているということですが、今後も定期的に意見の集約を行うということですか。各校長が持っている考えや中学校区で出したい特色等、今年1年間でプランを出しあって試行し問題点を洗い出す方向で、校長会と教育委員会が連携を図っていくという認識でよろしいですか。

【正路指導主事】 はい。

【教育部課長兼指導主事】 ご存知のとおり、今年は試行の年としています。試行の場合は、学校長権限で実施することになりますので、学校の意見を聞き、学校が抱える問題をともに解決しながら試行に向かっていくという立場になります。段取りとしましては、現在それぞれの学校の意見を聴取していますが、来週、校長会会長、教育長、教育委員会事務局が面談をして調整を行います。校長会に面談結果を伝えて、推進の立場を明確にした後、2学期以降の試行を迎えることとなります。

【井上委員長】 来年度は本格実施ということですか。

【教育部課長兼指導主事】 本格実施になれば、学校の年間計画にしっかり位置づけることとなりますが、実施にあたっては、さまざまな機関との調整が必要なため、時間をかけて進めていきたいと思っています。

【井上委員長】 本日の読売新聞に宗像市を含めて4市で土曜日授業を実施したという記事が出ていました。

【中岡委員】 先ほど言われましたように、学校暦にきちんと位置づけなければ、保護者はもちろんのこと、社会体育に支障が出ると思います。社会体育では、土曜日、日曜日に大会等を開催しますので、土曜日授業のため大会に出られないなどの実質的な問題が発生することが想定されますし、生徒自身が困ると考えられます。今年は試行ということですが、7月に入ると中学校ではかなり厳しい面が出てきますし、11、12月も大会開催等の関係で厳しい部分がありますので、うまく調整して進めていくことが大事だと思います。

【教育部理事兼主幹指導主事】 先ほど教育長から報告がありましたように、城山中学校の土曜日授業には、保護者の42パーセントにあたる300人以上の参加がありました。保護者に評価をお願いしたところ、「よい」という回答が70パーセントを超えたので、学校の意識改革の良い資料になるのではないかと考えております。

【井上委員長】 父親の参加状況はいかがでしたか。

【教育部理事兼主幹指導主事】 父親の参加も多く、両親で来校している姿が見受けられました。

【久芳教育長】 最初に自由ヶ丘中学校で実施されましたが、自由ヶ丘中学校では、授業時数確保を目的として県からの通知前に準備を進めていたという経緯があります。振替期間が延長される前の制度にのっとり、6月に実施すれば夏休み期間中に振り替えることができるという目論見で実施しており、今回の土曜日授業という大きな動きの中で実施したわけではないため、あまり広報をしていなかったという状況があります。

【井上委員長】 自由ヶ丘中学校と城山中学校では土曜日授業を実施した背景が少し異なっているということだと思います。

【中岡委員】 城山中学校では、昨年度の段階で土曜日授業を取り入れたいという考えがあったそうです。そのため、ある程度の準備期間と周知期間を設けることができ、今回6月に実施できたのではないかと考えます。

【久芳教育長】 実際に土曜日授業を実施する場合、教職員の意思統一も必要ですし、保護者の理解が得られなければ難しい面がありますので、校長会としっかり話し合いながら進めていきたいと思えます。

【平田委員】 土曜日授業とは内容が違ってもかもしれませんが、城山中学校が土曜日授業を案内する文書に、「スクールカウンセラーが来校していますので、相談のある方はお気軽にどうぞ」という旨の文言を書いていた。結果をうかがいましたら、予約が入ってしっかり相談活動ができたということでした。不登校気味の生徒の保護者などが来られており、わざわざ仕事を休まなくても行事に絡めて相談ができ、とても良かったとお聞きしました。昨年度から不登校生徒数が増加している状況を踏まえて、生徒指導の先生からの提案で実施したということです。今後も体育祭等の大きな行事に組み込んで取り組む予定だとのことでした。

【久芳教育長】 校長会でも、そのようなメリットを十分伝えていきたいと思えます。

④ 統一学力テストの結果の概要について（当日配布資料）

【教育部理事兼主幹指導主事】 別紙の「平成23年度宗像市立小・中学校全校統一学力テスト結果分析」をご覧ください。従来、国県の学力状況調査結果については分析等を行って報告していましたが、宗像市の統一学力テストについてはあまり分析をしていなかったと思います。全学年を対象にテストを実施しておりますので、今回はその結果をしっかりと分析して、傾向と対策をお知らせすることが大事だろうと思い、数字を羅列した前回の報告内容を改善して、今回はレーダーチャートに表わしました。内

容につきましては、羽田野指導主事がご説明申し上げます。

【羽田野指導主事】 当日配布資料参照。議事録なし。(▲7分45秒)

【井上委員長】 ご意見ご質問がございますか。

【中岡委員】 レーダーチャートの中に表記されていない部分は、テストの項目になかったということですか。

【羽田野指導主事】 はい、そうです。

⑤ 海の道むなかた館の企画展示について(資料9)

【郷土文化学習交流課長】 資料9参照。議事録なし。(▲3分2秒)

【久芳教育長】 昨日、準備しているところに参りましたが、御嶽山の山頂から目視できる沖ノ島や対馬を見やすく展示の上に掲げてあり、とても良かったです。行ってみたいという気持ちを喚起する内容になっていると思います。

⑥ 少年少女海外派遣研修使節団員選考結果について(資料なし)

【子ども育成課長】 今年度の団員につきましては、6月3日の選考会により13人を決定いたしました。応募者59人のうち、選考会実施前に2人から辞退の申し出があったため、57人に対して面接試験を実施しました。13人の内訳は、小学6年生が2人、中学1年生が5人、中学2年生が2人、中学3年生が4人で、男女の割合は男子が4人、女子が9人です。事前研修を5回、事後研修を1回予定しており、第1回目の事前研修を6月17日(日曜日)に実施しております。

【平田委員】 子どもたちが発表する様子を見て、日頃の学級活動が活かされていると感じました。学年は関係なく、小学生も自分の思いをしっかりと伝えることができていましたし、57人それぞれに良さがあるきらきらと輝いていました。面接させていただいて、宗像の教育の素晴らしさを実感することができました。

【井上委員長】 小学6年生の男女の内訳はどうなっていますか。

【子ども育成課長】 男子、女子各1名です。

⑦ 6月学校の日について(資料10)

【川上委員】 6月8日に自由ヶ丘小学校、自由ヶ丘中学校、自由ヶ丘南小学校の3校、6月9日に大島小中学校を訪問しました。自由ヶ丘小学校は、先生の年齢層が高く、ベテランの先生方が大変落ち着いた学級経営をしていらっしゃいますので、とても安定した授業を拝見できました。同じ学年にベテランの先生とまだ若い先生が入っていらっしゃって、言葉かけ、授業の仕方、子どもたちの雰囲気等が違っていました。見比べてみるとはっきり違いが分かります。若い先生がベテランの先生の持ち味やノウハウを吸収する良い機会ということで、うまくスキルを伝えていけばとても良い学級になるのではないかと思います。自由ヶ丘小学校は、通級指導教室と特別支援学級が充実しています

が、現在、人数がいっぱいの状態なので、今後増えた場合の対応について校長先生が心配されていました。通級指導教室への希望があっても、定員を超えていたために入れなかったり、待機をしたりした事案が昨年もあったそうですので、教育委員会として支援を考える必要があるのではないかと思います。自由ヶ丘中学校では校長先生が研修で不在だったため、安高教頭先生に対応していただきました。玄海中学校から自由ヶ丘中学校に来られたばかりですので、感想をお聞きしますと、子どもたちの違いに一番びっくりしたと話されていました。朝読の時間に座って本を読んでいる生徒の姿が大変新鮮だったそうです。新しく教頭先生になられて、業務を覚えるにあたり、今のような環境ですと非常に仕事がしやすいと大変喜んでいらっしゃいました。また、小中一貫教育で学習規律が揃えられている1年生の様子を見て、小学校でしっかり鍛えられていると感じたとのことでした。1年生と3年生の様子を10分程度見ましたが、3年生のクラスで片足をイスの上に上げたまま授業を受けている生徒がいました。先生は注意をせずにそのまま授業を進行していましたし、7、8人の子どもが寝ている姿も見受けられましたので、問題があるのではないかと思います。1年生は、新しい制服を着て、少しあどけない顔で先生の言うことをよく聞き、授業に取り組んでいました。自由ヶ丘南小学校では、5年生の時に落ち着きがなく課題があった今年の6年生が、昨年までと打って変わった態度で、授業に集中して臨んでいるのを見てとても驚きました。校長先生によりますと、今年は全学年でクラス替えを行い、担任も持ち上がりをやめて新しい環境を作ったそうです。6年生は昨年と同じ学年とは思えないくらい良くなっており、先生をちゃんと目で追い、質問に対してもしっかりと発言していました。担任との信頼関係ができるとこんなに違うものだろうかと思いました。翌日の6月9日に大島小中学校を訪問しました。教育委員も5年目になりますが、大島小中学校の文化祭を初めて見せていただき、子どもたちの取り組み方に非常に驚かされました。1人1人が活躍する場を設けているので、全員がとても生き生きと輝いていました。子どもの劇と思って観るのではなく、劇の中に入り込んで思わず本気で笑っている自分に驚きました。子どもたちも保育園児、幼稚園児ぐらいから出番がありますが、中学3年生までの姿を全て見るので、身近なところに「こうなりたい」と思える理想があります。それがとても良い効果を表わしているのではないかと思います。非常に楽しませていただきました。

【平田委員】 6月5日に玄海東小学校、8日に自由ヶ丘小学校、自由ヶ丘南小学校、日の里中学校、中央中学校、9日に大島小中学校を訪問しました。玄海東小学校では学級活動の公開授業で、ブロック交流会が行われていました。中学校区の先生方がたくさんいらっしゃっており、とても勢いがあると感じました。1年生も落ち着いていて、日ごろの積み重ねがしっかりできていると思いました。非常に安心できる環境でしたが、5年1組の発表の際に、掲示している模造紙とプリントに書かれている「提案」の「提」の字が、獣辺になっていましたので注意して見ていただきたいと思いました。マスクを着けている6年生が発表の時にきちんと外しているのを見て、しっかりマナーができていると感心しました。自由ヶ丘小学校では途中から川上委員と一緒にりましたが、学校に入った途端、楽しい雰囲気伝わってきました。校長先生とお話の中で、赴任後すぐに運動場の調整会議をした

ことをお聞きしました。子どもが多いため、運動場の使用についての会議が必要なことに驚かれたそうです。支援を要する6年生の子どもが、自分の思いが伝わらなくて教室を出て外に出ていったのを防犯カメラで確認できたとのことでした。全身にコルセットを着けた児童に対する暑さ対策として、エアコンの設置を予定していますが、工事が夏休みになるとのことで、時期を早めることができないかとお話をされているとお聞きして、配慮ができないのだろうかと感じました。保護者から放射能の問題があるため運動会の前に子どもを外に出さないでほしいとの要望があり、頭を抱えておられました。自由ヶ丘南小学校はとてもきれいで落ち着いており、1年生ものびのびしていました。地域の方が習字の指導をしていらっしゃるって、子どもたちも一生懸命取り組んでいました。日の里中学校は学級活動の公開日でした。以前は校内の清掃状態が悪く埃が気になりましたが、今回訪問してみると非常にきれいに掃除されていました。7年生は緊張がほぐれてのびのびとした様子で、グループで楽しそうに試験問題を考えていました。8年生も落ち着いて安定しており、真剣に仕事を選ぶ時の条件について学んでいました。9年生は、少し気になる部分はあったものの授業には参加している姿が見受けられました。クラスによって掲示内容に差があり、全く工夫されていない殺風景なクラスを見て、教室の環境は大切だと思いました。中央中学校では道徳の授業が公開されていました。校内の清掃状態もよく、全クラスで道徳の授業が行われていました。1年生のクラスで、おそらく支援が必要な生徒だと思いますが、ぱっと言った一言を先生が大事にされていてとても温かく感じました。3年生は救命救急講習を受けていました。6月9日に、川上委員と大島小中学校の文化祭に行きました。「感動、1人1人が努力し、心に残る楽しい文化祭にしよう」というテーマのとおり、1人1人が輝いており、泣いたり笑ったりのとても良い劇を見せていただきました。水崎校長先生が、たくさんある地域行事を学校の授業とどのようにリンクさせるのが大事だとおっしゃっていました。少人数学校の良さについてお聞きしたところ、1人1人がよく見えて分かることだそうです。基礎学力を定着させるための努力をしていかなければならないと言われていました。また、中学校を卒業した後の子どもの状況もよく把握していらっしゃいました。

【中岡委員】 玄海中学校、河東中学校、中央中学校、日の里中学校を訪問しました。玄海中学校では、1年生が先生の方をしっかりと向いて授業に集中していました。2年生のクラスでは、白石先生が理科の授業をしていましたが、子どもたちの意欲的な様子が伺えました。1、2年生は目に見えるくらいの変化がでていると思いました。3年生では、机ごと横を向いていたり私語をしていたりする状況が見られましたので、指導が必要だと感じました。進路確定の学年ですので早く変わってほしいと思います。翌日から普通教室のクーラー設置工事が始まるとお聞きしましたので、クーラーが設置されれば子どもたちも少し落ち着くのだろうかと思いました。河東中学校では、問題があるというわけではありませんが、授業に集中できていない生徒が見受けられました。本年度は週2回、福岡教育大学の2年生がボランティアで特別支援教育学級に入っており、非常に助かっているとのことでした。中央中学校では、道徳の授業で非常に活発な意見交換がなされており、真剣に授業に取り組んでいる生徒の姿が見られました。3年生では体育館で消防本部から招いた講師による救急救命講習が行

われていましたが、講習が終わった後に、講師の方が「他の学校でも講習会をやっていますが、中央中学校の生徒さんには非常に感心しました。」と感想を述べられていました。外部から来た方に客観的に見られているということで、生徒たちがしっかりとした姿を見せているのではないかと思います。日の里中学校では、子どもたちが集中して授業を受けており、意欲的に発表を行っていました。以前に訪問した際は、とても静かな学校という印象を受けましたが、この日は発表もあり、非常にたくさんの子どもの声が聞かれました。とても落ち着いた雰囲気の中で、意欲的、積極的な授業が行われていたと思います。

【井上委員長】 河東小学校と赤間西小学校を訪問しました。どちらの学校も保護者の来校が多くて感心しました。河東小学校では、校長先生から「中央中学校区での小中一貫教育を生かして、河東中学校区の小中一貫教育をしっかりと推進する努力をしたい」という力強いお言葉をいただきました。職員の意識づけに取り組みたいと話されておりましたが、非常に実績のある校長先生ですので、大いに期待したいと思いました。2年生の図工の授業を参観しましたが、集中してものづくりに励んでいる子どもの姿が印象的でした。赤間西小学校では、校長先生が「保護者と語る会」に入っていましたので、教頭先生の案内で授業を参観しました。どのクラスも大変落ち着いた雰囲気の中で授業がなされておりました。赤間西小学校では、福岡教育大学との連携事業で、大学の美術科の先生や2年間限定で雇っている講師と一緒に音楽、書写、図工の分野での研究を進めているとのことでした。書写コーナーを設けて、書写の仕方について大学の研修成果を取り入れたテクニックを見せていました。書写コーナーを作っている学校は他にはないとのこと、校長先生も非常に自慢をしていました。福岡教育大学との連携事業には、赤間西小学校の他に玄海東小学校と自由ヶ丘南小学校も関わっています。先ほど平田委員が、自由ヶ丘南小学校で地域の方が書道の指導をしていたと報告されていましたが、このプロジェクトの方ではないかと思います。

【教育政策課長】 「学校の日」における道徳と学級活動の公開内容に一部変更がありましたので、5月定例教育委員会でお配りした一覧表の差替え分を本日配付しています。変更箇所は網掛け表示をしておりますので、訪問の際の参考にさせていただきますようお願いします。

⑧ 小中一貫教育について（資料なし）

【教育部理事兼主幹指導主事】 小中一貫教育について現状を簡単に報告いたします。今年度に入り、3カ月近く経過しましたが、良い点として7年生の学習態度があげられます。小中一貫教育の成果だと非常に嬉しく感じております。また、授業がだんだん良くなってきています。発表など言語活動において子どもの出番が増えていきますので、必然的に子どものやる気も喚起されて、学習内容の定着も期待できると思います。一昨日、昨日に玄海小学校と玄海東小学校の学校訪問を行いました。そこでの授業を見ていただければお分かりになったのではないかと思います。玄海中学校におきましても、先ほど中岡委員が言われたように、少しずつ状況が改善されています。解決すべき課題に取り組みながら、それぞれの学校の良さを発揮していけたらと考えております。昨年度研究指定校だった河東中学校区と

自由ヶ丘中学校区については、非常に注目しているところですが、力を抜くことなく本年度も研究を進めていくことが必要です。例えば、これまでは教科領域を道徳や国語に絞っていたのを広げていますので、多くの教師が関わりを深めることとなります。小中一貫教育を自分たちのものとして受け止められるようになってきたことは非常に大きなことです。川上委員のご意見にありましたように、指導力の向上が課題としてあげられます。学校長のリーダーシップが欠かせませんが、リーダーシップを発揮するためには学校長の意欲や自立性・主体性が大事だと思いますので、このあたりを刺激していきたいと考えております。子どもたちには「自立する学び」を強調していきたいと思っています。自分の意思で学習することを9カ年通したいと考えていますし、これは保幼小との連携からも深めていきたいと考えております。自立をキーワードとして小中一貫教育をさらに充実させていきたいと思っています。

⑨ その他

【郷土文化学習交流課】 本日、市内山笠及び鐘崎海女の特別企画展示についての資料を配付しています。7月に予定しております2つの企画展示についてのご案内です。現在市内では、田熊、地島、大島、鐘崎の4地区で山笠の昇き山が実施されていますが、7月8日に飾り山を海の道むなかた館の玄関横に展示する予定にしております。雨天の場合は中止になりますが、その前から、山笠のパネル・写真展示と映像放映を実施します。4地区全ての山笠飾り山を展示できるわけではありませんが、田熊と大島については確実に展示できますし、場合によっては鐘崎の飾り山も展示が可能になります。海女の特別企画展示は7月16日の海の日にちなんだものです。内容としましては、日本海沿岸の海女発祥の地である鐘崎について広く知ってもらうために、現在も海女を続けておられる女性2人とタレントの栗之助さんが対談するトークイベントを予定しています。それに合わせまして、海女の写真や道具の展示、映像放映等を7月10日から行います。7月16日にトークショーと合わせて、海女の市を屋外で開催して、サザエ、アワビ、ウニ等を販売したり、子どもたちが楽しめるような磯の生き物が入ったタッチプールを準備したりするなど、海の日にちなんだ催しを考えていきたいと思っています。夏休み中は、クイズ形式の内容を盛り込んだ子ども向けの歴史展示を行う予定です。週末には体験学習もできるようにしたいと考えております。夏休み期間の最初と最後に、トヨタ関連のものづくり教室や宗像高校の生徒によるロボットの实演を企画したいと思っています。

【市民活動交流室長】 お手元に団体情報誌・市民活動ボランティア団体ガイド2012とむなかた協働大学の募集要項をお配りしています。団体情報誌につきましては、現在開催中の議会におきましても議員2人からご紹介いただきました。庁内の各部署、市内の小中学校にもお配りしております。交流室とむなかた市民フォーラムで把握している約210の団体に情報誌の作成を案内し、掲載を希望またはしてもよいとした157団体の情報を掲載しています。学校教育におきましても、地域との連携が大切ですが、コミュニティだけではなくいろいろな団体と連携していただきたいと考えておりますので、団体を知ってほしいという意味を込めて、学校に配付しております。むなかた協働大学につきま

しては、現在第3期受講生を募集中です。募集要項の4ページでは入学願書提出期限を7月2日としていますが、7月17日まで延期したいと考えております。先週の日曜日に開催しました入学説明会の参加者が少なく、定員30人を下回る事態も考えられることから、今回募集期間を延長することにしました。今後は、コミュニティ運営協議会への案内を通じて募集に努めたいと思っております。人材育成、生涯学習という点から、教育委員の皆様からも市民の皆さんにご紹介いただけたらと思えます。よろしくお願ひします。

【井上委員長】 他になければ、次回の定例教育委員会は7月20日金曜日、午前9時30分から301会議室で開催します。長時間ありがとうございました。

次回開催予定日 7月20日（金）午前9時30分開始

平成24年7月20日

井上裕之

川上美子
